



尾久八幡

令和4年度5月号
令和4年5月2日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校長 近江 貞之

入学・進級から1か月



校長 近江 貞之

昨年度の卒業式に「無欲は怠惰の基」に触れながら式辞を述べました。これは東京パラリンピック水泳で銀メダルを獲得した14歳の山田美幸さんの座右の銘で、日本資本主義の父とされている渋沢栄一さんの言葉です。この言葉は教育長高梨博和先生のお話をヒントにしました。



私なりの解釈として「無欲」を「目標をもたないこと」として「次のステージ（例えば高等学校）では明確な目標をもって努力してほしい」と話しました。この話をしようと考えたきっかけは面接練習で「将来の夢や希望、なりたい職業はありますか」と質問に対して多くの答えは「高校や大学に行ってから考えます」と言うことからです。

これからの社会は予測ができないほど大きく変化すると言われています。このことから「夢をもたないことはしかたがない」と思っています。一方、自分の得意や苦手なこと、やりたいことや将来のことを考えないことは努力ができないのではないかと考えたからです。



本年度の始業式、入学式においても同じように目標に向かって、計画を立て、努力してほしいと話しました。「無欲は怠惰の基」とともに、頭の片隅に林真理子さんの「野望のすすめ」の中に「目標は車の前輪、努力は車の後輪」これがそろってはじめて目標に向かえるとありました。また、実行して失敗することもあると思いますが、野望のすすめの中に「やってしまったことの後悔は日々小さくなるが、やらなかったことの後悔は日々大きくなる」ともありました。

生徒・学生の時代は失敗に社会は寛容ですから目標をたてて、勇気をもって挑戦してください。また、失敗は挑戦した証でもあります。中学生活では挑戦をして、うまくいなくても創意工夫をして、また周りの人々の助言を受けながらたくさんの成果を上げてほしいと願っています。

新学期が始まって、約1カ月が過ぎました。学校の様子やこれからのことが入学・進級時よりも見えてきたと思います。目標を立て、それを実現するための計画を作成して努力することを期待しています。

校長として変わらぬ努力目標は、教育目標を具現化するために校訓の「文武両道」「礼節・品格」を進めて行くことです。そのために生徒の理解を深めること、教員の指導力を向上させること、家庭との連携を深めることに注力します。

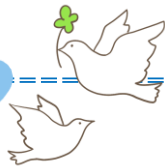
そのために、

- 1 教育目標にある主体的に行動できる生徒の育成には授業・行事を実施する中で生徒の主体的な行動を促しその機会を増やしていきます。
- 2 主体的な学習を促す指導力向上のために研究授業を実施していきます。

3 通信活動、ホームページを充実させ学校の様子をお知らせするとともに、家庭との連携を増やすために三者面談の機会を増やしていきます。

このようなことを推進して保護者、地域の皆様のご期待に応えられるように学校運営して目標を達成してまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

インフォメーション INFORMATION



4月より学校ホームページがリニューアルされました。以前よりも見やすく分かりやすくなりました。

「行事予定」や「お知らせ」、「学校からのお便り」などとともに、「学校の様子」では行事の様子や授業風景など、八幡中の生徒の活動を中心に掲載していますので、お時間のある時にぜひご覧ください。



※PC版とスマートフォン版があります。

5月行事予定

日	曜	行事等	給食	日	曜	行事等	給食
2	月	全校朝礼 離任式	○	16	月	全校朝礼 荒教研	○
3	火	憲法記念日	×	17	火	避難訓練	○
4	水	みどりの日	×	18	水		○
5	木	こどもの日	×	19	木		○
6	金	専門委員会	○	20	金		○
7	土	土曜授業日 セーフティ教室	×	23	月	全校朝礼 教育実習始 運動会練習始	○
9	月	全校朝礼 安全指導	○	24	火		○
10	火	修学旅行(3)始	3×	25	水		○
11	水		3×	26	木		○
12	木	修学旅行(3)終 オーケストラ鑑賞教室(2)	3×	27	金	英語検定	○
13	金		○	30	月	学年朝礼	○
				31	火		○